

## 第1回 下小岩地域 小学校統合に向けた合同会議 議事録（要旨）

【日 時】 令和2年12月16日（水）19時00分～20時00分

【場 所】 下小岩小学校 体育館

### 【主な内容】

#### 1 統合スケジュール（案）について

- ・令和2年度から令和7年度の改築スケジュール案について説明。
- ・合同会議で検討していく諸課題である「通学区域」、「統合校の校名」、「学用品」、「校歌」、「校章」は令和2年度中に一定の方針を固めていきたい。
- ・令和3年度から「統合準備委員会」を設け、実務的な協議を学校・PTAの皆様を中心に検討予定である。

#### 2 統合に係る諸課題（案）について

- ・今後検討していく課題の一覧について説明。
- ・課題一覧表で進捗状況を管理し、順次更新していく。
- ・諸課題については優先順位をつけながら検討を進めていく。

### 【意見交換内容】

- ・これから検討する内容は、ある程度順序を決めて行っていくのか。  
統合に係る諸課題については、多岐に渡り検討項目が多いため、優先順位を決めて検討していかねばならないと考えている。（事務局）
- ・例えば、諸課題の中にある校名や校歌、校章については、事務局から案が示されて意見を出し合うものなのか。また、こういったタイミングで意見を伝えれば良いのか。  
校名は非常に重要な問題であると認識しており、これまでの統合事例を参考に、それ以外の方法も含めこの会で話し合っていきたい。そのため、日頃から学校のためにご尽力いただいている皆様から意見を頂戴し、方針を検討していきたいと考えている。（事務局）
- ・仮設校舎の規模はどれくらいか。それにより校庭はどれくらい削られてしまうのか。  
仮設校舎はできる限り小規模にしたいと考えており、現状では4教室程度の建設を想定している。  
なお、校庭は今より狭くなってしまうため、休み時間などで屋上を安全に使用していただけるよう整備したいと考えている。（事務局）
- ・4教室程度であれば現校舎のみで運営できないものか。  
現在下小岩小学校は11学級だが、残りの教室についても学校運営上必要な教室として使用している。  
今後現校舎のみで運営できないかを検討し、その上で仮設校舎が必要と判断した場合には最小限の規模で計画したいと考えている。（事務局）

- ・校名は来年 3 月までが検討期間となっているが、これは合同会議で一から決めていくものなのか。それとも、ある程度事務局から提示いただき、それに対しての意見をしていけばよいのか。

校名については、まずは方針の検討を来年 3 月までに行いたいと考えている。校名は場合によっては、スケジュール通り決まらないことも想定しており、その場合には来年度も継続して検討していくことになる。次回の合同会議では、これまでの事例をお示ししながら議論を進めていければと考えている。(事務局)

- ・児童の運動の場について、校庭と屋上の利用以外に何か別の案があるのか。例えば運動会などの大きなイベント時には近隣校の校庭を借りるなどの検討をしているのか。

日々の体育の授業や休み時間については、校庭・屋上の利用を想定しているが、運動会などの特別な行事については、近隣校の校庭を借りられるよう調整していきたいと考えている。(事務局)

- ・校名は、どちらか一方の校名を残す方法や、新しい校名にする方法など、手法はたくさんあると思うが、それぞれの立場でそれぞれの思いがあるため、広く意見を聞く機会があってもよいのではないかと考える。

校名については、これまでの統合事例のケースを参考に、どのような方法で進めていくか、まずは皆様からご意見を頂戴し、方針を検討していきたいと考えている。(事務局)

- ・優先して検討する項目が複数あるが、どれも年度末までの短い期限となっている。あらかじめ事務局から資料を提示いただき、その資料をもとに話を進めていけばこの期限に間に合うのではないかと考えるが、どのように進めていこうとしているのか。また、それぞれの項目について、どのような順序で検討していけばよいのかを教えてください。

すべての優先項目を今年度末に決めることは難しいと認識しており、実態としては、来年度以降に繰り越す課題も出てくるのではないかと考えている。ただし、校名や校章、校歌、学用品については密接なつながりがあるため、検討順位を付けるのであれば、まずは校名を決定していきたい。なぜなら、校名の変更の有無により校章や校歌、学用品も連動するからである。(事務局)

- ・PTA の方々にもご出席いただいているが、区が提示した諸課題以外に何か心配に感じていることがあれば教えてください。

一保護者の意見として、下小岩二小の保護者は仮校舎で過ごす 2 年間の通学路について心配しているし、下小岩小の保護者は新校舎で過ごす際の通学路について心配している。

通学路が変わる前年度中に土木部や警察、学校と協議し、児童が安全に通学できるよう準備をしていきたいと考えている。(事務局)

- ・統合後に児童どうしが馴染んでいけるのかも心配している。

どうしても馴染める子と馴染むのに時間を要する子が出てきてしまうが、統合前は児童交流を定期的に行い、統合後についても教員がフォローできるよう体制を整えたいと考えている。現在の制度においては、統合前後に教員を加配することができるようになっているため、そのような制度を利用し、手厚くフォローしていきたい。(事務局)

- ・統合時、特に6年生のクラス分けはどのように考えているのか。下小岩二小側からすると、ずっと同じ仲間で生活してきたのだから、最後の1年くらい同様に生活させてもらえないのかと考える保護者もいる。また、それは6年生に限らず他学年についても同じことが言える。しかし、統合したことを考えると、果たしてそれが良いことなのかという考え方もあり、非常に気がかりである。

基本的にはクラス替えを行うことが学校統合という意味では良いと考えている。両校の校長先生が児童の実態をもとに話し合い、保護者の皆様の意見を参考としながら決めていくことになる。(事務局)

- ・次回以降の合同会議の在り方への提案だが、出席者の意見に対して教育委員会事務局が一問一答のように答えるという形ではなく、出席者どうしても意見が出し合えるような会にした方が建設的に話を進められるのではないかと。

いただいたご意見は参考にさせていただき、次回からそのように行えるよう検討していきたい。(事務局)

以上